

【西区】令和3年第1回区づくり推進横浜市議員会議

令和3年2月5日(金) 16時開始
西区役所3階3B会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 座長の選出
- 3 議 題
 - (1) 令和3年度 西区編成予算(案)について
 - (2) 令和3年度 西区編成予算(案) 主要事業について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」
(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 地域連携交流事業
 - ウ 地域活動支援の強化
(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業)
 - エ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - カ 健康づくり応援事業
 - キ 子育て支援の推進
(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)
 - ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - コ 西区民まつり
 - サ ふるさと西区魅力発信事業
 - シ スポーツ振興等事業
 - ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
 - セ 広報充実事業
 - ソ 西区環境行動推進事業
 - タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - チ 交通安全事業
 - ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - テ 食中毒・感染症予防対策事業
 - ト 地域防災活動推進事業
 - (3) 西区における開発動向等について
 - (4) 令和2年度 コロナ禍における事業展開の報告
 - (5) 西区における新型コロナウイルス感染症の状況
- 4 会議報告書の作成
- 5 閉 会

3-(1) 令和3年度 西区編成予算（案）について

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかにあわせなまち 西区へ ～

新型コロナウイルス感染症の拡大は、収束の見通しが立たず、区民の生活や経済に深刻な影響が生じている中、新型コロナウイルス感染症の影響を十分に把握した上で、「感染症対策の強化」「経済再生の実現」「地域活動の継続」に取り組み、地域の皆様と区役所が連携・協力し、様々な地域課題の解決を図りながら、より良いまちづくりを進めていきます。

- 地域のつながりづくり
- 安全・安心なまちづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり

1 区分別総括表

(単位:千円)

	3年度予算額	2年度予算額	差 引
自主企画事業費	99,090	98,927	163
統合事務事業費	36,032	36,183	▲ 151
統合事務費	20,408	20,508	▲ 100
統合事業費	15,624	15,675	▲ 51
区庁舎・区民利用施設管理費	449,787	449,779	8
合計	584,909	584,889	20

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	3年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	11,368	・「[こやか しあわせ 暮らしのまちプラン] (西区地域福祉保健計画)の推進 ・地域連携交流事業 ・区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	22,130	・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	28,788	・地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
安全・安心なまちづくり	27,673	・地域防災活動推進事業 ・西区環境行動推進事業 ・西区ヨコハマ3R夢推進事業
親しみやすい区役所づくり	9,131	・サービス改善推進事業 ・区総合庁舎等環境整備事業
合 計	99,090	〈37事業〉

(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	3年度予算額	主な施設等
区庁舎	52,386	西区役所
行政サービスコーナー	6,717	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,719	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,734	西土木事務所
公会堂	35,753	西公会堂
地区センター等	90,132	西地区センター、藤棚地区センター等
ログハウス	8,386	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	54,156	野毛山荘
コミュニティハウス	74,497	戸部コミュニティハウス等
区スポーツセンター	92,191	西スポーツセンター
広場・遊び場	238	西平沼こどもの遊び場等
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,878	
合 計	449,787	

令和3年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるもの

1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R3年度 事業費	R2年度 事業費	事業費 増▲減
1		「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	3,096	4,368	▲1,272
2		西区ふれあい福祉推進事業	3,103	3,289	▲186
3	新規	地域連携交流事業	600	0	600
4	拡充	地域活動事業	4,089	2,900	1,189
5	新規	区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	480	0	480
小 計			11,368	10,557	811

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R3年度 事業費	R2年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	高齢者あんしん生活サポート事業	3,268	3,058	210
2	拡充	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,119	3,788	331
3		読書活動推進事業	1,695	1,902	▲207
4		地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,541	1,568	▲27
5		区役所キッズスペース運営事業	4,773	4,673	100
6		地域子育てサロン運営支援事業	368	336	32
7	拡充	西区で子育て学び隊事業	2,670	2,979	▲309
8		西区の保育施設つながり事業	702	639	63
9		女性と子どものための相談支援強化事業	690	680	10
10		健康づくり応援事業	1,850	1,777	73
11	拡充	家計のやりくり応援事業	454	639	▲185
小 計			22,130	22,039	91

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R3年度 事業費	R2年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	4,400	4,400	0
2	拡充	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	3,114	4,967	▲1,853
3	拡充	西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,353	2,053	300
4	拡充	広報充実事業	2,728	2,342	386
5		西区民まつり	6,007	5,700	307
6		ふるさと西区魅力発信事業	4,845	4,110	735
7		地域文化振興事業	1,166	1,166	0
8	拡充	スポーツ振興等事業	4,175	4,475	▲300
小 計			28,788	29,213	▲425

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R3年度 事業費	R2年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	地域防災活動推進事業	13,003	12,773	230
2		西区環境行動推進事業	2,106	2,908	▲802
3		放置自転車対策事業	4,104	4,103	1
4	拡充	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,858	2,319	539
5		交通安全事業	2,424	2,424	0
6		安心して暮らせるまちづくり推進事業	2,004	2,011	▲7
7	拡充	食中毒・感染症予防対策事業	1,174	1,074	100
小 計			27,673	27,612	61

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R3年度 事業費	R2年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	区総合庁舎等環境整備事業	6,003	6,111	▲108
2		サービス改善推進事業	810	812	▲2
3		人権啓発推進事業	318	316	2
4		統計便覧作成事業	630	600	30
5		区民生活マップ作成事業	830	1,257	▲427
6	拡充	区政推進運営事業	540	410	130
小 計			9,131	9,506	▲375
合 計			99,090	98,927	163

3-(2) 令和3年度 西区編成予算(案) 主要事業説明について

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課) 【予算額 3,096千円(対前年度比 1,272千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により進捗が滞っている第4期計画の策定を、地域の皆さまや関係機関とも連携し、感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。併せて地域活動や福祉保健に関心を持っていただけるよう意識醸成にも取り組みます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(3,096千円)

① 福祉保健計画の推進

地域活動の参考となる内容の講座を様々な世代を対象に実施します。区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に区で実施する事業の情報提供や地域とのつながりを深めていく機運を高めるための取組を継続実施します。

活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域による取組の発表を中心にした、「にこまちフォーラム」を開催します。



にこまちフォーラム

② 広報・啓発

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、子どもたちが地域とつながりや地域における自分の役割などについて考える機会を創出します。



こども向け啓発

③ 第4期計画の策定

福祉保健の分野に精通したアドバイザーの助言を踏まえ、また、「推進評価委員会」などで各分野の代表からの意見も伺いながら進めていきます。

新型コロナウイルスの影響が依然として続いており、地区別計画の策定など進捗が見込まれないことも想定されます。策定スケジュールは確定させず、議論が進められる状況を見極めて策定を行います。



推進評価委員会

【第4期計画策定のスケジュール】

時期	実施事項	実施内容
令和元年12月	推進・評価委員会	第3期計画の振り返り 第4期計画の策定に向けた意見交換等
令和2年3月	策定検討会 (対面開催は中止)	計画の理念や考え方、骨子などを書面にて確認
令和2年8月	策定検討会 (第1回)	素案(大枠)の検討
令和2年11月	策定検討会 (第2回)	素案の検討
令和3年3月	推進・評価委員会	素案の確定
令和3年6月	区民意見募集	素案に対する区民からの意見を公募
令和3年11月	推進・評価委員会	計画案の確定
	冊子の作成	冊子やリーフレットの作成
令和4年2月	啓発	にこまちフォーラムの開催
令和4年4月	計画の開始	

※感染症拡大の影響により、令和3年以降の作業進捗に遅れが生じる可能性があります。

イ 地域連携交流事業【新規】

(区政推進課)
【予算額 600千円】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域づくり大学校の修了生に対して財政支援を行います。

また、みなとみらいにキャンパスを開設する神奈川大学との連携強化を図ります。

(1) 西区地域づくり大学校修了生支援補助金(300千円)

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向けて負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

■参考：西区地域づくり大学校修了生支援補助金（案）

開始時期：令和3年4月

交付条件：西区地域づくり大学校修了生又は同修了生を含む活動団体

補助額等：限度額5万円/件、最長3年間、必要経費の90%

予算：300(千円)(内訳：5万円/件、6件)

主な用途：地域活動に必要な会場借り上げ費、印刷費などの経費

(2) 神奈川大学との地域連携交流事業(300千円)

令和3年4月に神奈川大学みなとみらいキャンパスが開設されることにともない、相互の連携促進を図るための意見交換を行い、多文化共生や地域プロモーション、SDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めます。



地域交流促進の場となることが期待される
神奈川大学みなとみらいキャンパス 1F ラウンジ・ラボ

ウ 地域活動支援の強化

(地域振興課)

(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業【新規】)

【予算額 4,569千円(対前年度比 1,669千円増)】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域の団体等の会議や打合せが相次いで中止となり、その結果、顔の見える関係づくりや情報伝達が滞る等の課題が見つかりました。

コロナ禍の中にあっても地域の絆を繋ぐため、自治会町内会向けICTを活用した会議開催に向けての支援及び区民利用施設にてICTツールの利用を促進する事業を実施します。

(1) 地域活動事業(4,089千円)

① 自治会町内会ICT支援(1,288千円)

令和2年度は、市民局が各区の地区連を対象として、ICTを活用した会議体験等の出張講座「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」を実施しました。

今後も新型コロナウイルスとの共存が続く中、当該事業を契機として、自治会町内会単位でも同様の講座を受講し、ICTへの理解を広めることを目的として、講師派遣委託による支援を実施します。

また、新型コロナウイルス感染拡大時においても、区連会定例会をはじめ、地域や団体の会議が継続できるよう、リモートでの会議開催について、機器及び通信料の支援を行います。

■参考：「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」申込状況

・第一地区：ソフトバンク株式会社	(会場：山木ビル2階)	受講人数：15人
・第三地区：ソフトバンク株式会社	(会場：藤棚地区センター)	受講人数：8人
・第四地区：ソフトバンク株式会社	(会場：第四地区会館)	受講人数：20人
・第五地区：TVKコミュニケーションズ	(会場：南幸自治会館)	受講人数：18人
・第六地区：ソフトバンク株式会社	(会場：軽井沢自治会館 又は第六地区連合町内会館)	受講人数：20人

② 自治会町内会等が実施する地域活動の支援(2,801千円)

自治会町内会長感謝会の開催、自治会町内会依頼業務負担軽減業務(広報物等の運送)、防災情報付広報掲示板整備補助事業(防災情報の共有促進)

(2) 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業(480千円)【新規】

地域に根ざした区民利用施設において、ICTツールの利用促進を行うことで、これまで手順等の煩雑さ等から利用してこなかった区民においても、ICTをより身近に感じ、利用の普及に繋げていくことを目的として、事業を実施します。

・地区センター

オンライン通話の体験ブースを通年で設置し、ICTツールを利用する場の提供を行います。サークル活動や会議で来館した利用者に利用方法の説明も行います。

・コミュニティハウス、集会所、区民利用施設協会事務局

オンライン通話の体験会を年6回実施します。

■参考：オンライン通話体験の実施予定回数

西地区センター	通年	区民利用施設協会事務局	6回
藤棚地区センター		西前小コミュニティハウス	6回
戸部コミュニティハウス	6回	稲荷台小コミュニティハウス	6回
浅間コミュニティハウス	6回	東小コミュニティハウス	6回
平沼集会所	6回	軽井沢コミュニティハウス	6回

エ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,268千円(対前年度比 210千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(971千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展や講演会を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル会議(2回)・地域包括支援センターレベル地域ケア会議(4回)にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。

③ 「地域で見守りガイドブック」の普及啓発

地域ケア会議で作成した「地域で見守りガイドブック」を配布し、映像資料を活用しながら関係機関・団体への啓発を行います。

令和2年度に作成した企業向けの「配達企業も地域で見守りガイド」についても周知を進め、協力企業を増やしていきます。



地域で見守りガイドブック

④ 支援者向け「連絡カード」の作成

ケアマネジャー等の支援者から配布できる「連絡カード」を作成し、緊急時に対応ができるネットワーク作りを進めます。

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,326千円)

① 認知症予防講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組について紹介します。(9月)

また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

③ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数 158 名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(11 月)

(3) 健康づくり・介護予防事業(971 千円)

① 「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」を活用した活動充実

ころばんよ体操の効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防)にオーラルフレイル予防を加えた「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」を、解説書・ポスターに加え、DVD や YouTube 等を活用し、普及啓発と地域における自主的活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施(健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数18名)等の人材育成研修を開催します。また、介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(2月)



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを、コロナ禍の各施設の状況を反映するとともに、コロナ禍でも取り組める介護予防等を紹介します。(7月)



「お元気活動応援マップ」
「健康づくり活動・グループ紹介」

オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,119千円(対前年度比 331千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,321千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発活動

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に周知します。
(9月～3月)(4か所)

② 区民まつりでの啓発活動

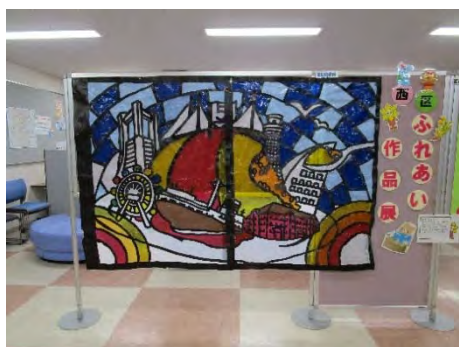
障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

③ 西区ふれあい作品展

障害者週間に合わせて、西区域の個別支援学級に通う中学生や障害のある人たちの作品を展示します。(12月)(2か所)

④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動

障害の当事者と少人数の対話を通して相互理解を促す西区版ヒューマンライブラリーを実施します。(10月、2月)



ふれあい作品展の作品



ヒューマンライブラリーの様子

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(315千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進める取組を実施します。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への周知と計画の作成勧奨をします。
(通年)

② ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

災害時にガス式発電機をすぐに使えるように、福祉避難所と連携した稼働訓練を実施します。(2月)

③ 災害対策用品ニーズ調査・啓発事業

電源を要する医療機器を使用している方を対象に、非常用電源機器の貸出事業を実施します。また、当該機器を貸与した方を対象に、当該機器を用いた非常時を想定した訓練を実施します

(3) 障害者生活体験事業(483千円)

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が自立するためのステップとしてマンスリーマンションを活用するなどして生活体験を行う場を提供します。

より実際の一人暮らしに近い状態が体験できるよう、必要なヘルパーの派遣等を新たに実施します。(8月、1月)

人工呼吸器や吸引器を使用している人

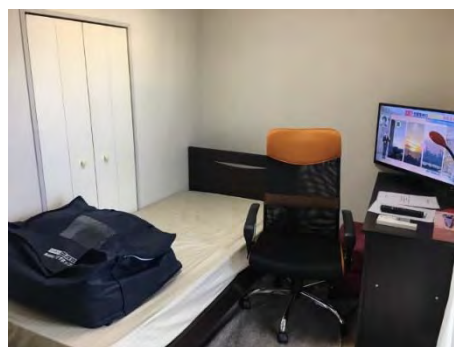
「わたしの災害対策ファイル」を作成しましょう

電源が必要な医療機器を使用している人に、必要な備えや発災時の対応を確認するためのファイルをお渡ししています。ファイルを活用し、日ごろから停電や災害時の避難に備えましょう。

災害対策ファイル 検索

配布場所 区役所2階22番窓口

問合せ 障害担当
☎320-8417 ☎290-3422



マンスリーマンションの部屋

広報よこはま 2020年8月号
「わたしの災害対策ファイル」について

カ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,850千円(対前年度比 73千円増)】

市民の健康づくりの指針である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めます。また、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供するとともに、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します。また、新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式の内容を含めた健康情報の啓発を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、関係団体と相談しながら取組の実施方法を検討します。

(1) 健康づくり応援イベント(308千円)

働き・子育て世代の参加を促すため、幼児を対象とした「歯と口の健康週間(フッ化物塗布)」事業を歯科医師会と共催で実施するとともに、新型コロナウイルス感染症等に係る新しい生活様式の内容をふくめた健康情報の展示・体験・相談等を行います。同時に歯科医師会主催の口腔がん検診も実施し、区民が健康について関心を高めるきっかけづくりとします。(6月)



健康づくり応援イベント

(2) パネル展等での情報発信(555千円)

市民が多数来所する場(中央図書館等)で新型コロナウイルス感染症等の健康情報パネルを掲示することで、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。(8月~9月)

また、西区ツイッターを利用し時宜にかなった健康情報を配信します。

(3) 食育推進事業(710千円)

会議の円滑な運営と関係団体間の情報共有の促進が図られるよう事務局として補助し、研修会や区内の食育推進活動事例を紹介するパネル展を実施します。(2月)

(4) 保健活動推進員等の活動支援(277千円)

令和3年4月に新たに委嘱される保健活動推進員については、新型コロナウイルス感染症の状況に配慮しながら団体の活動を支援します。

キ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)


(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 3,360千円(対前年度比 299千円減)】

(1) 西区で子育て学び隊事業(2,670千円)

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を進めます。

① プレパパママクラス・よちよちパパママ育児教室

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち妊娠による身体の変化を学び、妊婦疑似体験など行う講座について、平日に参加できない妊婦とパートナーが参加できるよう土曜日に開催します。

また、初めてのお子さん(生後3～7か月)を持つ両親を対象に、父親の育児参加の啓発やふれあい遊びなどを学ぶ「よちよちパパママ育児教室」を土曜日に開催します。

(両事業とも年5回→年6回)



プレパパママクラス

② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的とした「赤ちゃん教室」を区内の9か所で実施します。感染症拡大防止のため、令和2年10月からは月齢に応じた2部制で開催しています。

(年10回×9会場)



赤ちゃん教室

③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、いのちの始まりや胎児の成長に関する講話、沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験などを通じて、育児や親の想いを知り、いのちの大切さを学ぶ「中学校いのちの教室」を実施します。

④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育所等一覧による子育て情報の提供などを行います。



中学校いのちの教室

(2) 女性と子どものための相談支援強化事業(690千円)

子どもの発達の特性に気が付いていない保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズを受ける機会を設けます。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 4,400千円(前年度同額)】

東京2020オリンピック・パラリンピックやガーデンネックレス横浜の開催に合わせて、来街者が増加する機会を捉え、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進します。

(1) イベント等を契機としたまちの回遊促進(2,000千円)

オリンピック・パラリンピック等の来街者が増加する機会を契機に、ガイド情報誌やまち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。



ガイド情報誌

① 英語版ガイド情報誌の増刷

令和元年7月に発行したガイド情報誌の英語版を増刷します。

■参考：ガイド情報誌の発行実績

「ことりっぴ横浜西区さんぽ」	発行:平成30年3月(初版)、9月(増刷)
	発行部数:初版2万部、増刷2万部 計4万部
「Discover Yokohama Nishi」	発行:令和元年7月(初版)
(英語版)	発行部数:5,000部



「温故知新のみち」案内サイン

② まち歩きルート「温故知新のみち」の活用

来街者の増加が見込まれる都心部エリアについては、多くの人にご活用いただけるように案内サインの地図情報の更新を行います。また、より幅広い層へのまち歩きの促進を図るため、健康づくり等の視点を加えた周知を行っていきます。



三菱ドック踏切通路
現在の様子(R3年1月)

③ 三菱ドック踏切通路の美化

MM21地区と既成市街地の接続ポイントである三菱ドック踏切通路において、美化活動イベントと連携するなど、引き続き環境改善に向けた取組を行います。

■参考：関連する局事業

- ①地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善検討事業(都市整備局)
安全で快適な歩行者環境の整備に向けた、令和2年度の実施取組を踏まえた調査検討
- ②東横線廃線跡地の整備(都市整備局・道路局)
廃線跡地の調査設計及び利活用検討

(2) 地域資源を活用したまちづくりの推進(2,400千円)

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用して区内の回遊性を高めます。また、区民・企業・団体等の多様な主体と連携し、花と緑のまちづくり活動を推進するため、体制を整備するとともに苗・種等の配布を実施し、身近な場所での花と緑づくりの機会を作ります。



ガーデンネックレス横浜 フォトスポット



区内での花と緑づくりの活動(浜松町公園)

ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額3,114千円(対前年度比 1,853千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、“経営状況はかなり厳しい”との声が店舗、特に飲食店から届いています。そのことを踏まえ、商店街の振興や店舗への支援、周辺の地域資源の魅力を発信するため、効果的な事業及び広報を実施します。

(1) 商店街連携回遊性向上事業(2,038千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、広く商店街の魅力発信を行うことで、商店街振興やまちの賑わいを創出します。

また、特に厳しい状況にある飲食店の支援として、スタンプラリー参加者（先着・希望者）に対し、店内での飲食を提供している店舗を対象にした「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」を開催することで、身近な飲食店舗の魅力の再発見及び支援に繋がります。



スタンプラリー冊子及びステッカー



食べ歩き冊子及びステッカー



② オウチで西区商店会！

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、依然厳しい状況にある飲食店を支援するため、「オウチで西区商店会！」として、テイクアウトに対応している店舗を西区ホームページやデジタル観光マップ、西区公式Instagramに掲載し周知することで、区民や来街者の利用促進に繋がります。

また、他の広報媒体等を活用し、更なる利用促進と店舗の拡大について取組を進めます。



オウチで西区商店会！登録店舗ステッカー

<p>中国料理 八角 (浅間下商店街ニッコリ会)</p> <p>【対応可能】持ち帰り 【取扱商品】中国料理 【所在地】横浜市西区浅間町1-20-2石川ビル1階 【電話番号】045-548-3518 【営業日時】11:00~14:30、16:30~22:30(月曜休み) 【PR】地元を愛する、地元で愛される本格的中国料理です。 【商品メニューはこちら!】(PDF:97KB)</p>	<p>八角(商品)</p>
--	---------------

オウチで西区商店会！西区公式ホームページ(一部)

③ ベイバイクでまわる西区サイクルマップ

平成31年3月に新旧市街地の回遊性向上を目的として発行した「西区サイクルマップ」は、持ち運びの便利さとマップの見やすさが好評で、令和2年11月に増刷を行いました。観光案内所や関連施設等窓口に配架することで、区内区外の来街者への魅力発信の強化を図ります。

また、今回の増刷に伴い桜や紅葉スポットを追記した他、新たに藤の花スポットやビューポイント等の紹介を行い、ウォーキングやサイクリングを楽しむ方への配布に取組みます。



西区サイクルマップ(表紙)



西区サイクルマップ(藤棚及びビューポイント)

- 参考：西区サイクルマップ
- 発行：令和2年11月（ふるさと西区推進委員会）
- 発行部数：10,000部
- 配布場所：西区役所、各観光案内所、区内地区センター、コミュニティハウス 等
- 増刷に伴う追加項目
- 桜スポット：10か所→21か所
- 紅葉スポット：6か所→9か所
- 藤の花スポット：（新規）13か所
- ビューポイント：（新規）15か所
- 特記事項：自転車損害賠償責任保険加入義務化、自転車に乗る時のルールとマナー、
ベイバイク利用前後の手洗いや消毒の推進、オウチで西区商店会！、
西区デジタル観光マップのPR 等

(2) まちの賑わい創出事業(1,076千円)

① デジタル観光マップを活用した商店街情報発信事業

スマートフォンを使って手軽に検索できる「デジタル観光マップ」を活用し、スタンプリヤやオウチで西区商店会！の参加店舗、商店街振興事業への協力店舗を紹介することで、区内商店街への来街者の増加を図ります。



西区デジタル観光マップ投稿(一部)



スマホ画面表示イメージ

- 参考：デジタル観光マップのアクセス数（令和2年4月～11月平均）
- 配信開始：令和元年8月
- アクセス数（月平均）：日本語版 569件 英語版 14件

② インスタグラム事業

写真に特化した魅力発信ツールの「インスタグラム」を活用し、イベント情報や区の歴史的資産等をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりに繋がります。

また、コロナ禍の中、厳しい状況にある飲食店の支援として、「オウチで西区商店会！」店舗等を掲載し周知を図ります。（再掲）

さらに、既存のInstagram周知媒体（しおり）を活用し、SNSでの関連付けである「#ハッシュタグ」にて投稿者と西区公式Instagramとの連携を周知することで、利用者に西区に関連した投稿を促がすとともに、アカウントのアクセス数を増やし、更なる賑わいの創出に繋がります。



西区公式Instagram投稿写真（一部）



西区Instagram周知媒体（しおり）

■参考：西区公式Instagram（令和3年1月7日現在）
投稿数：138件
フォロワー数：1008人

③ 英語版ガイド情報誌の増刷（再掲）

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴い、国内・国外から来街者が増加する機会等を捉え、西区の魅力を発信するため、令和元年7月に発行したガイド情報誌「ことりっふ横浜西区さんぽ」の英語版を増刷し配布します。

■参考：ガイド情報誌の発行実績
「ことりっふ横浜西区さんぽ」発行：平成30年3月（初版）
9月（増刷）
発行部数：初版2万部
増刷2万部 計4万部
「Discover Yokohama Nishi」発行：令和元年7月（初版）
（英語版）発行部数：5,000部
配布場所：観光案内所、区内金融機関、区内主要ホテル、
中央図書館、西区役所、区内イベント会場 等



ガイド情報誌（日本語・英語）

コ 西区民まつり（主催：西区民まつり実行委員会）

（地域振興課）

【予算額 6,007千円(対前年度比 307千円増)】

西区では新旧市街地住民の連帯意識を高めるための交流推進が課題となっています。


西区民まつりは、区民による区民のための交流事業として、地域との連携と共生を図り、顔の見える関係づくりや情報発信を充実させ、地域活動の活性化を図ることを目的に昭和51年から開催しています。

令和2年度の西区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を断念しました。令和3年度は、各種ガイドラインに基づき、当日の人の流れや感染リスクを想定しながら、あらゆる感染症対策を行い、コロナ禍の中でも開催できるよう検討・準備を進めます。

(1) 実施内容

戸部公園や西前小学校を会場として、次の内容のイベントを実施します。

戸部公園：くらしの広場（飲食ブース等）、健康広場（健康チェック等）、
ステージ（ダンスや楽器演奏等）

西前小学校：こどもの広場（ミニSL乗車、射的等）

(2) コロナ対策

従事者にはスタッフの事前検温やマスク着用、手指の消毒を、来場者には会場内各所への消毒液の設置、出入口の動線を区別するなど、万全の対策を講じて実施します。

また、飲食を伴う屋台等の実施方法については、感染の状況や他のイベントを考慮し、実行委員会において実施方法について検討を進めます。



ステージ(令和元年)



くらしの広場(令和元年)



こどもの広場(令和元年)



コロナ対策(令和2年彦根市観光と物産展)

■参考

令和元年度に第44回を開催しました。

（令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止）

入場者数：約37,000人（令和元年度）

サ ふるさと西区魅力発信事業（主催：ふるさと西区推進委員会）（地域振興課）
【予算額 2,387千円(対前年度比 655千円増)】

西区虫の音を聞く会は、横浜開港の立役者である「井伊掃部頭直弼公^{いいかもんのかみなおすけこう}」が伝統芸能や茶道に通じた文化人であったことから、銅像のある掃部山公園で、野点（屋外での茶会）や琴・尺八の演奏等を行い、和の伝統文化を楽しみながら区民の交流を深める催しとして、昭和40年から開催しています。

令和2年度の西区虫の音を聞く会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を断念しました。令和3年度は、各種ガイドラインに基づき、当日の人の流れや感染リスクを想定しながら、あらゆる感染症対策を行い、コロナ禍の中でも開催できるよう検討・準備を進めます。

(1) 実施内容

掃部山公園内に献灯や万灯、雪洞を灯し、ろうそくの幻想的な灯りの中、公園内にて次の内容のイベントを実施します。

銅像前広場：献茶式、開会式、野点、琴・尺八の演奏

こどもの広場：鈴虫販売、屋台（カレーライス、かき氷、焼きそば等）、ゲーム

公園内通路：即興歌席、ヨコハマ3R夢PRコーナー

(2) コロナ対策

従事者にはスタッフの事前検温やマスク着用、手指の消毒を、来場者には会場内各所への消毒液の設置、出入口の動線を区別するなど、万全の対策を講じて実施します。

また、飲食を伴う野点や屋台等の実施方法については、感染の状況や他のイベントを考慮し、委員会において実施方法の検討を進めます。



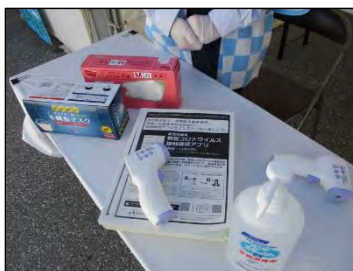
会場の様子(銅像前広場)



彦根鉄砲隊演武(令和元年)



コロナ対策(令和2年彦根市観光と物産展)



■参考

昭和40年から始まり、令和元年度に第55回を開催しました。

（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止）

入場者数：約10,000人（令和元年度）※新元号を祝して彦根鉄砲隊による火縄銃演武を実施。
約8,000人（平成30年度）

シ スポーツ振興等事業

(地域振興課)

【予算額 4,175千円(対前年度比 300千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地区センター等の身近な施設で競技種目の体験会や大会グッズ巡回展示等、区民がスポーツに親しむ機会を提供します。また、大会終了後には、大会のレガシーを残す取組を実施します。さらに、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたスポーツ振興(3,400千円)

① 東京2020大会機運醸成

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、身近な場でオリンピック・パラリンピックに親しめる機会として区内各所の施設と連携し、大会グッズの巡回展示等を実施します。また、大会競技の体験会等により機運醸成を図ります。



東京 2020 大会啓発巡回展示



こどもサッカー学校

② ハマのウォーキングフェスティバル

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを開催します。屋外での実施ではありますが、例年区内外から1,000名近くの申込みがあり、参加者が多数集まるイベントであるため、より多くの方々に楽しんでいただけるよう感染予防対策や会場内での演出等、開催方法を十分に検討し実施します。



ハマのウォーキングフェスティバル

(2) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業

(西土木事務所)

【予算額 2,353千円(対前年度比 300千円増)】

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、8公園に藤棚が整備されていますが、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっています。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、引き続き藤棚の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、取組を進めます。

(1) 公園・施設等の緑化推進(1,553千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

花苗や球根を購入し、公園愛護会を中心に花苗植え作業を行います。作業を行う際には、地域住民や保育園児、小学生などにも参加を呼びかけ、様々な方が一緒に作業していただくことで地域交流を進める取り組みとします。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、密にならず、短時間で終わるように工夫して実施してまいります。

(年2回、30公園)



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進(800千円)

① 公園の藤棚による維持管理の試行

区内の藤棚がある公園にて、藤棚再生に向け藤棚に関する維持管理の有識者を講師として選定し、昨年度に引き続き剪定作業時にアドバイスを頂きながら維持管理を試行し、維持管理方法の確立を目指します。(通年)



講習会の様子

② 地域への維持管理手法の共有

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有していきます。新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、できる限り他の藤棚管理者の皆様と連携をとりたいと考え、年2回の公園での講習会を実施する予定です。また、個人のお宅でも藤の花を楽しんでいただくことを目的とした講習会の実施を検討するなど、藤の花を通じた地域のにぎわい活性化を目指します。(通年)



西土木事務所ホームページの藤の花再生プロジェクトコーナー

③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信

昨年6月19日からツイッターでの情報発信を開始、引き続き管理作業のポイントや藤棚の紹介などをツイートしていくとともに、西土木事務所のホームページでも同時に情報発信を行います。(通年)



ツイッターでの情報発信

セ 広報充実事業

(区政推進課)

【予算額 2,728千円(対前年度比 386千円増)】

情報のデジタル化や多言語対応を推進し、誰もが手軽に情報を入手できる環境を整えていきます。また、西区の行政情報や魅力スポット情報を、様々な媒体を活用して発信していきます。

(1) 広報印刷物のデジタル化・多言語化(495千円)

デジタルネイティブ・外国人住民の方、在勤者の皆さんなど、より多くの人に手軽に行政情報を受け取ってもらうため、無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket (カタログポケット)」を導入し、「広報よこはま西区版」など暮らしに関する情報を10言語で配信開始しました。音声読み上げ機能やユニバーサルフォント表示機能も付いているため、世代を問わずあらゆる人に使いやすいアプリとなっています。

今後は、アプリの活用について広く周知をするとともに、デジタル掲載内容の充実を図っていきます。



■参考：Catalog Pocket (カタログポケット) 概要

公開日：令和2年12月22日

主な特色

- ・10言語に自動翻訳
{日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)・タイ語
ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語}
- ・自動音声による読み上げ機能(ベトナム語を除く)
- ・弱視や高齢の方にも見やすいユニバーサルデザインフォント対応
- ・文字を拡大表示するポップアップ機能
- ・新規配信をプッシュ通知でお知らせ

(2) 各種広報事業(2,233千円)

これまでの紙媒体情報発信に加え、ホームページ・デジタル観光マップ等、電子媒体を活用し、在住・在勤問わず、幅広い年齢層へ情報を発信します。また、新しい生活様式を踏まえ、自宅で講習会・講演会等を視聴したり、西区の事業や魅力を楽しんでいただけるよう、動画配信も積極的に行っていきます。

■参考：西区ホームページ「#にしまろちゃんねる」

西区の事業や魅力を動画で発信。

- ・多言語電子ブック「カタログポケット」紹介動画
- ・「まちかど緑のボランティア」花壇づくり
- ・野毛山動物園 動物紹介(キリン・ヨウスコウワニ)
- ・三菱ドック踏切通路壁面掃除の様子



デジタル観光マップイメージ

ソ 西区環境行動推進事業

(区政推進課)

【予算額 2,106千円(対前年度比 802千円減)】

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

(1) 区民・事業者・行政が一体となった取組の推進(1,816千円)

プラスチック等による海洋汚染問題への対策等、環境に配慮した具体的な行動の実践の拡大・定着・浸透を目指し、区民参加型取組「にしくecoチャレンジ」を実施します。

また、区内企業・団体等の環境配慮行動をPRする「SDGsパネル展」を開催し、各活動への興味関心を持つ機会を提供します。

■参考1：にしくecoチャレンジ2020

実施期間：令和2年11月2日(月)～令和3年1月15日(金)

事業概要：環境配慮行動及び感染症拡大防止に向けた新たな生活様式の実践を促すため、これまでに取り組んだことのない新たな3つの取組にチャレンジし応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。

参加企業・団体数：18社

参加者数：248名

取組メニュー(一部)

- ・環境に配慮した買い物をしよう
(マイバックの持参や、必要な分だけ購入、横浜産野菜の購入など)
- ・食べきり協力店で残さず食べよう
- ・SDGsパネル展について、理解を深めよう
- ・徒歩やシェアサイクルなどの自転車利用も併用して



にしくecoチャレンジ2020
パンフレット

■参考2：SDGsパネル展

開催期間：令和2年11月17日(火)～12月27日(日) 期間中、区内4会場にて巡回展示

- ①みなとみらいギャラリー(11月17日(火)～11月23日(月))
- ②ヨコハマくらし館(11月24日(火)～11月29日(日))
- ③新都市プラザ(11月30日(月)～12月5日(土)
12月21日(月)～12月27日(日))
- ④相鉄ジョイナス(12月8日(火)～12月20日(日))

事業概要：区内企業・団体におけるSDGs達成に向けた取組や感染症拡大防止に向けた取組を、各社概要等と共にパネルで紹介。

参加企業・団体数：18社(にしくecoチャレンジ2020参加企業と同じ)

来場者数：1,219名



SDGsパネル展
(ジョイナス地下1階四角広場)

(2) 産官学連携による次世代を担う子ども達への環境学習支援(290千円)

将来を担う子どもたちや子育て世代への環境配慮行動の理解促進を図るため、区内の企業・団体や、令和3年4月にみなとみらいキャンパスを開設する神奈川大学等と連携し、産官学連携による環境学習イベント等を実施します。

タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,858千円(対前年度比 539千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、地域清掃活動の支援や3R行動の推進を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン講座など新しい生活様式を取り入れた取組を積極的に事業展開し、事業効果の最大化を図ります。

(1) ごみの減量・リサイクルの定着を図っていく事業(146千円)

テイクアウトやまとめ買い等によるワンウェイプラスチックごみの増量が見込まれることから、資源循環局西事務所と連携し、区内全集積場所に分別啓発チラシを貼付する他、月替わりの懸垂幕による視認啓発を継続します。



集積場所貼付チラシ



懸垂幕



懸垂幕(4種類)

(2) 3R行動を推進していく事業(297千円)

企業協力による店頭での啓発を新しい生活様式を取り入れた方法で実施していきます。市・区社会福祉協議会が実施しているフードバンク事業へ資源循環局西事務所と連携して協力していきます。



協力: サミット横浜岡野店



フードドライブチラシ



フードドライブ実施
資源循環局西事務所

(3) こどもたちの環境学習を支援していく事業(394千円)

(公財)横浜市資源循環公社との連携、企業との協力のもと、区内小学校5・6年生を対象に引き続きペットボトルリサイクル講座を実施します。また、4年生を対象に学校給食の牛乳パックを利用した「紙すき」リサイクル体験をオンライン講座と併用し実施していきます。



オンライン講座



紙すき体験



再生紙 完成

(4) 清潔できれいな街づくりを進める事業(2,021千円)

① 地域清掃活動支援強化事業(WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、区内の学校・企業等と連携し、横浜駅周辺や聖火リレールートでの清掃活動を一体的な活動として支援を継続します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大規模なクリーンキャンペーンは行えない状況の中で、短時間・少人数による清掃活動及び企業協力による啓発を行います。(通年)

さらに、ポイ捨て対策として、新田間川遊歩道で実施した横断幕等の視認啓発を帷子川遊歩道にも拡大します。



北幸: 新田間川遊歩道(通年)



行政(関係区局)による清掃活動



資源循環局による街宣活動

② 地域清掃推進

自治会・町内会等による地域清掃に対し、清掃用具を支援するため、清掃用具希望調書を配布します。(希望調書: 4月、清掃用具6月末から配布予定)

また、プラスチック対策として、引き続きバイオマスプラスチック製品のごみ袋を配布するとともに、企業の協力により新たなリサイクルプラスチックを原料としたごみ袋を試行します。

令和2年度・清掃用具希望調書

地区	自治会・町内会名	希望品名	希望数	備付数	差
北幸	新田間川遊歩道	1. 長柄手袋	100	0	-100
		2. 長柄手袋	100	0	-100
		3. 長柄手袋	100	0	-100
		4. 長柄手袋	100	0	-100
		5. 長柄手袋	100	0	-100
		6. 長柄手袋	100	0	-100
		7. 長柄手袋	100	0	-100
		8. 長柄手袋	100	0	-100
		9. 長柄手袋	100	0	-100
		10. 長柄手袋	100	0	-100
合計			1000	0	-1000

※希望品名(バイオマスプラスチック製品)の希望数は(希望品名)は共通品として記載いたします。

※希望品について、品名の記載の通りですが、色については希望状況によって変わります。

清掃用具希望調書



BP90%製品のごみ袋 45L

■参考: 化石燃料のごみ袋に比べBP90%製品のごみ袋は、CO₂を約70%削減する効果があります。

チ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,424千円(前年度同額)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を実施します。

(1) 小学校への交通安全教育事業(200千円)

感染症対策が続く中においても、児童への交通安全教育は子ども達の安全を確保するための大切な取り組みとなります。

特に新1年生に対する「歩行訓練」は各小学校から要望が強く、早期の実施が求められているため、戸部警察署、戸部交通安全協会、西区役所の3者で連携し全小学校で実施します。また、実施内容については、各小学校の要望を受け、実状に即した内容で感染症対策を講じた上で交通安全教室を開催します。



交通安全教室(巻き込まれ事故防止)



交通安全教室(1年生への歩行訓練)

(2) 交通安全運動推進事業(1,094千円)

感染症対策を行いながら、各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、パネル展や啓発物品の配布等により区民をはじめ、来街者へ交通事故防止を呼びかけます。

また、タウン誌へ啓発記事を掲載するなど広報活動を工夫しながら事業を実施します。



秋の全国交通安全運動



年末の交通事故防止運動

(3) スクールゾーンにおける安全対策(1,130千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。

ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,004千円(対前年度比 7千円減)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化します。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業(472千円)

犯罪被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、犯罪手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信等を継続的に行います。

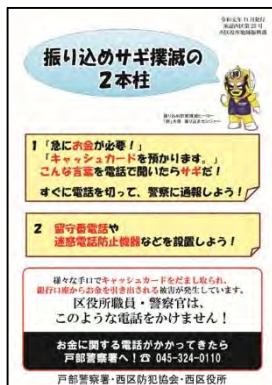
また、タウン誌へ注意喚起の記事を掲載するなど広報活動を積極的に行うとともに、防犯関係団体が一堂に会する「地域安全西区民のつどい」を開催します。

防犯活動は交通安全事業と一体的に取り組むことで、さらなる防犯意識の啓発、犯罪被害の抑制を図ります。

(2) 青色パトロールの実施(1,532千円)

特殊詐欺及びこどもの防犯対策のため、戸部警察署及び民間警備会社と連携し、青色(防犯)パトロール活動を行います。

■参考	
・ 特殊詐欺被害額等	R2年11月末現在：約9,570万円(件数：13件) R1年：約6,200万円(件数：50件)
・ 青色パトロール実施回数	12月末現在 36回 週1回程度、年48回(R1年度 48回)



防犯啓発チラシ



コロナにまけるな!
西区元氣プロジェクト2020



防犯啓発マスク



迷惑スケートボード追放パトロール

テ 食中毒・感染症予防対策事業

(生活衛生課)

【予算額 1,174千円(対前年度比 100千円増)】

西区の食中毒・感染症予防対策を推進するため、食の安全の確保事業、動物・昆虫媒介感染症対策事業、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る啓発事業を実施します。

(1) 食の安全確保事業(436千円)

① 食品取扱施設の衛生確保事業

ホテル・商業施設内の飲食店、イベント出店施設、社会福祉関連給食施設などを対象に、配布資料や清浄度検査機器を活用した効率的・効果的・わかり易い衛生指導を実施し、品取扱施設の衛生確保を支援します。

② 食の安全に関する情報発信事業

食品衛生責任者、地域活動の担い手、一般消費者に対する食品衛生講習会、市バス乗客に対するカンピロバクター食中毒予防動画の放映、福祉保健センター主催の教室・会議参加者に対する食中毒予防注意喚起ロゴ入り除菌ウェットティッシュの配布を通じた食の安全に関する情報の発信により、食中毒の未然防止を図ります。

(2) 動物・昆虫媒介感染症対策事業(60千円)

① ねずみ、衛生害虫媒介感染症の防除啓発事業

区民・ビル管理者・ビル所有者に対する、パネル展、啓発チラシ配布を実施します。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(100千円)

① 感染予防に関する情報発信事業

商業施設、宿泊施設、食品取扱施設、イベント出店施設に対するリーフレットの配布、区役所来庁者に対するロゴ入り除菌ウェットティッシュの配布により、感染予防に関する情報を発信します。

② 室内換気啓発事業

大規模建築物、区民利用施設、生活衛生関係営業施設への訪問及び機器貸出しによる室内二酸化炭素濃度の「見える化」を図り、感染症予防における換気的重要性を周知します。



CO₂モニター本体



CO₂モニター 窓口設置

ト 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 13,003千円(対前年度比 230千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,522千円)

① 新型コロナウイルス感染症対策の強化と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、避難所スペースの拡充を図るとともに、対策用物品を追加配備します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう各拠点の実情に対応した支援を行います。



一本松小学校地域防災拠点訓練
(避難者の受入れ訓練)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(9月～3月、年1～2回)

なお、訓練の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症を踏まえた実施方法を検討します。

(2) 区本部の防災機能強化(6,743千円)

① 震災・風水害対策の強化及びICT機器の導入

災害時を想定した震災・風水害対策本部のシミュレーション訓練を実施します。

また、感染症対策などを踏まえた物品の整備や、全方位カメラ等のICT機器を新規に導入・活用し、発災時における区本部における情報収集の強化を進め、災害対応力を強化します。

② 帰宅困難者一時滞在施設との連携強化

昨年度協定締結したJR横浜タワー及びパシフィコ横浜ノースと新たに訓練を実施するなど、各帰宅困難者一時滞在施設との連携強化を図ります。

③ 災害医療対策の推進

医療救護隊巡回訓練(9月)や区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2月)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(4,738千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携しての啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

<p>■参考1：感震ブレーカー補助実績 令和2年度：447個（令和3年1月末） 令和元年度：206個 / 平成30年度：413個</p> <p>■参考2：初期消火器具更新実績 令和2年度：17基（令和3年1月末） 令和元年度：7基 / 平成30年度：14基</p>
--

② 区民への防災・減災の普及啓発

防災・減災に関する啓発のために、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施方法を検討します。

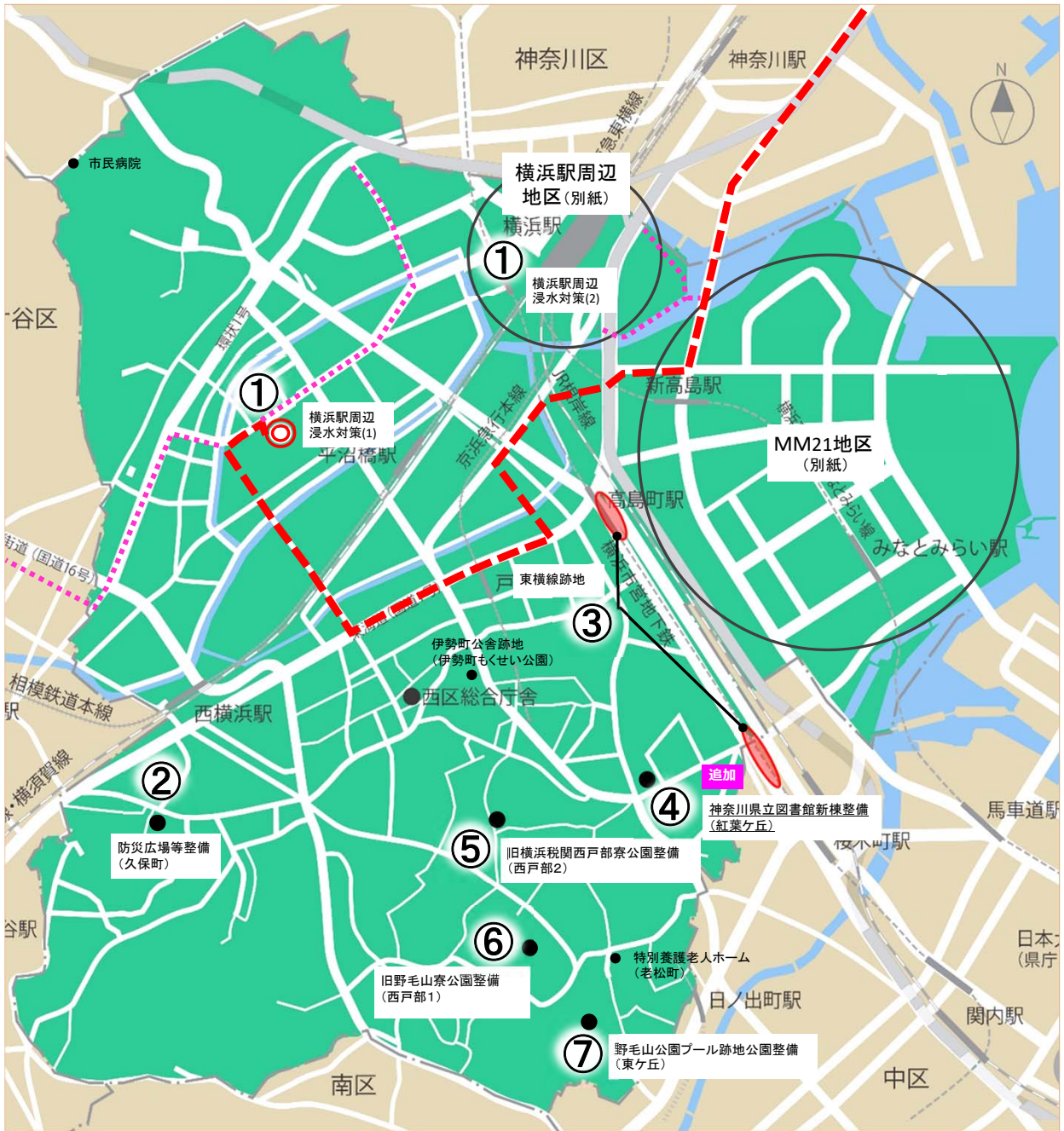
災害時における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、在宅避難に関するリーフレットを作成し、啓発を進めます。

③ 普及啓発の多言語化への対応

無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket（カタログポケット）」等を活用し、外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう多言語化を図り普及啓発します。

地区	概要
④ 追加	<p>神奈川県立図書館新棟整備 神奈川県が旧高等職業技術校跡地に、県立図書館新棟の整備を行います。 既存本館は建物の魅力を活かした「魅せる図書館」、既存新館は収蔵庫として改修し、新棟を「価値を創造する図書館」として閲覧スペースを集約化します。</p> <p>【施設概要】敷地面積1908.07㎡ 延床面積3697.64㎡、地上4階</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年 着工 令和3(2021)年度 竣工予定 令和4(2022)年度 開館予定</p>
⑤	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡ 【スケジュール】 平成29～令和元(2017～2019)年度 用地取得 令和2(2020)年度 既存建物解体(9月着工)、公園計画の検討 令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑥	<p>旧野毛山寮公園整備 当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,700㎡ 【スケジュール】 令和2(2020)年度 道路整備工事、公園設計 令和3(2021)年度 公園工事(基盤整備)、 公道化(南側)整備に向けた調査・設計(予定) 令和4(2022)年度 公園工事、移管手続等、公道化(南側)設計(予定) 令和5(2023)年度以降 公道化(南側)整備(予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】土地面積 約6,200㎡ 【スケジュール】 平成30～令和元(2018～2019)年度 公園計画の検討 令和2(2020)年度 所管替え、公園計画の検討 令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>

西区開発動向分布図

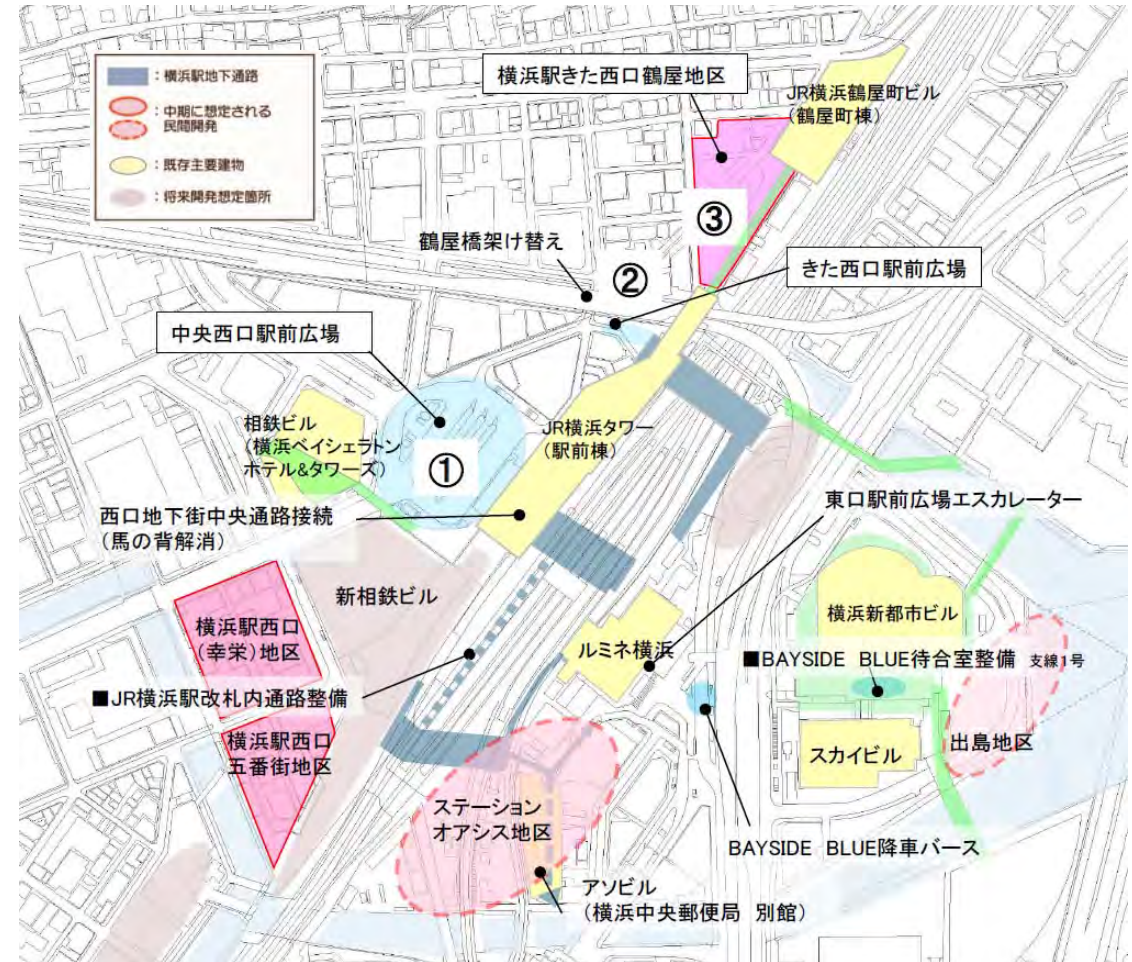


3-(3) 西区における開発動向等について(横浜駅周辺地区)

横浜駅西口	東日本旅客鉄道㈱によりJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビルの建設工事が竣工しました。 また、神奈川県になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。
横浜駅東口	横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。
①	中央西口駅前広場 令和元(2019)年7月～令和2(2020)年7月 JR横浜タワーアトリウム前 令和2(2020)年8月～令和5(2023)年3月 横浜モアーズ前、横浜高島屋前 (令和3(2021)年7月～9月はオリンピック・パラリンピックのため休工予定)
②	きた西口駅前広場 令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月
③	横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者: 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ: 地上43階/地下2階、約178m 用途: 住宅、ホテル、商業施設等 平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着手 令和5(2023)年度 竣工(予定)

【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前、横浜高島屋前工事着手 JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了
令和4(2022)年度	①中央西口駅前広場整備完了(予定) ②きた西口駅前広場整備完了(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)



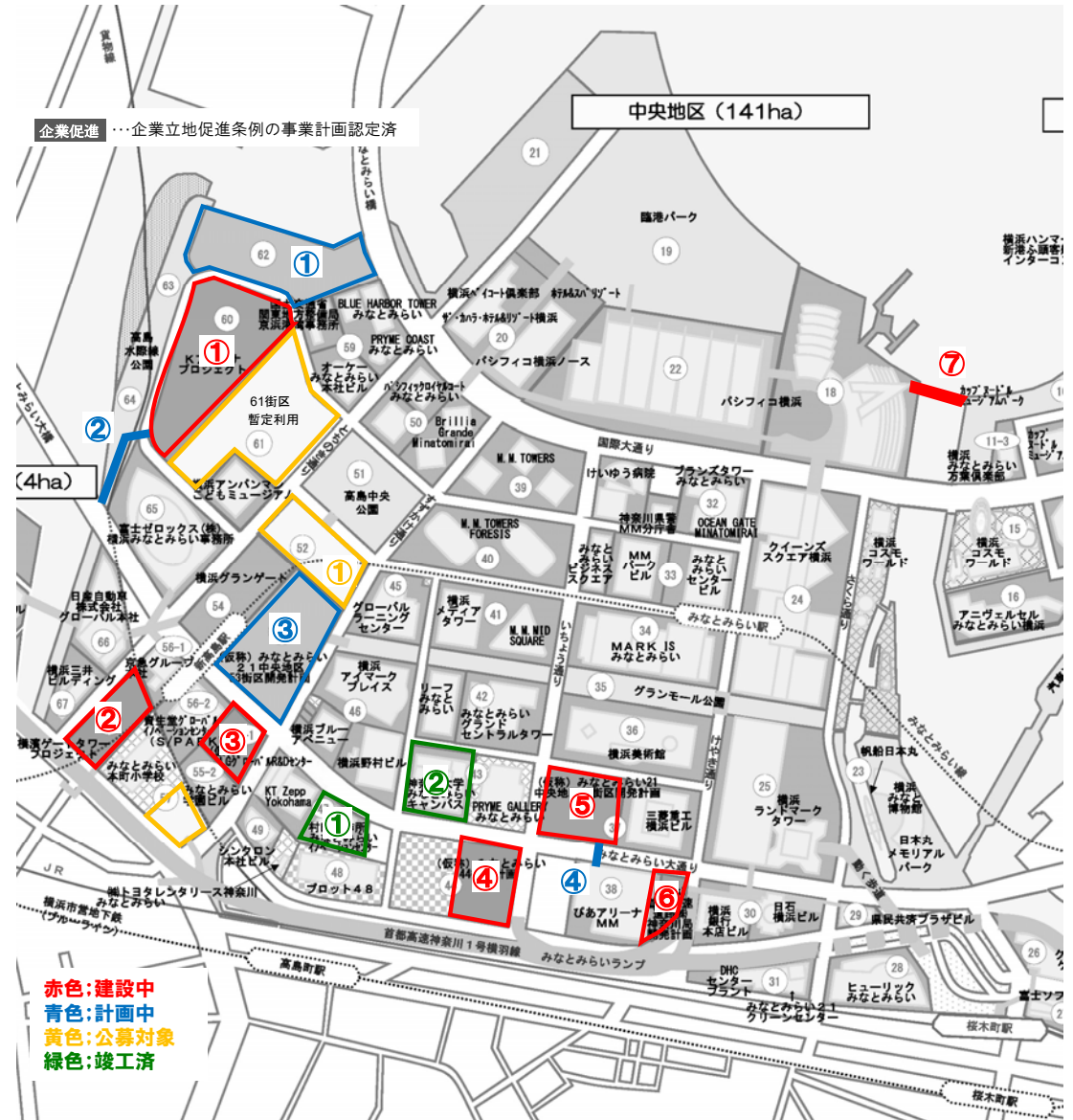
竣工済	■ BAYSIDE BLUE (ベイスайд ブルー) 待合室整備 (令和2(2020)年12月 竣工)
	■ JR横浜駅改札内通路整備 (令和2(2020)年8月 整備完了)

3-(3) 西区における開発動向等について(みなとみらい21地区)

令和2年12月末時点

赤① 変更	60・61の一部：Kアリーナプロジェクト 企業促進 事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上25階、地下1階/約100m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約117,100㎡ 施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設 竣工：令和5(2023)年10月予定	赤⑤	37の一部：(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画 事業主体：合同会社K R F 4 8 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5(2023)年1月予定
赤②	58：横濱ゲートタワープロジェクト 事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社 規模等/高さ：地上21階、地下1階/約110m 敷地/延床面積：約9,300㎡/約84,000㎡ 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等 竣工：令和3(2021)年度予定	赤⑥	38の一部：首都高速道路橋 神奈川県にある神奈川管理局が移転予定です。神奈川県地区の首都高速道路の防災拠点となります。 事業主体：首都高速道路株式会社 規模等/高さ：地上10階/約47m 敷地/延床面積：約2,500㎡/約13,400㎡ 施設：オフィス、駐車場 竣工：令和3(2021)年3月予定
赤③	55-1：(仮称)LGグローバルR&Dセンター 事業主体：LG Holdings Japan株式会社 規模等/高さ：地上16階、地下2階/約90m 敷地/延床面積：約4,000㎡/約35,900㎡ 施設：研究所、事務所、体験スペース等 竣工：令和3(2021)年11月予定	赤⑦	18：女神橋(めがみばし) 事業主体：港湾局 規模等：幅員6m、延長約75m 供用開始：令和2年12月28日一部供用開始 全面供用は令和3年2月末を予定
赤④	44の一部：(仮称)みなとみらい44街区計画 企業促進 事業主体：積水ハウス株式会社 規模等/高さ：地上23階/約100m 敷地/延床面積：約9,600㎡/約65,800㎡ 施設：ホテル等 竣工：令和4(2022)年2月予定		

青①	62：(名称未定) 事業主体：(代表企業) Berjaya Corporation Berhad (構成企業) 丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,200㎡/約82,700㎡ 施設：ホテル、水族館、店舗 竣工：令和8(2026)年3月予定	青③	53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画 事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、にぎわい施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6(2024)年3月予定
青② 新規	60-みなとみらい大橋：(仮称)高島水際線デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3年度 竣工予定：令和5年度中	青④ 新規	37-38：(仮称)みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約50m 着工：令和3年度 竣工予定：令和4年度中



黄①
新規
52街区(市有地・国有地 公募)
敷地面積：約11,800㎡
公募期間：令和2年11月6日～令和3年3月3日
事業予定者決定：令和3年7月予定
建物用途：業務、商業、文化施設等

緑① 村田製作所みなとみらいイノベーションセンター
(令和2(2020)年11月竣工)

緑② 神奈川大学みなとみらいキャンパス
(令和2(2020)年11月竣工)

3-(4) 令和2年度 コロナ禍における事業展開の報告

1 コロナにまけるな！西区元気プロジェクト2020

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域のイベントやお祭りなど、様々な活動が中止や縮小を余儀なくされています。しかし、このような中でも、3密防止や新しい生活様式に対応しながら、元気に活動を行っている人たちがいます。

そこで、西区では「コロナにまけるな！西区元気プロジェクト2020」を11月1日から12月6日まで開催し、区役所前での「日替わり出展ブース」や、動画や写真での地域活動紹介のほか、商店街スタンプラリーなど様々なイベントで地域活動を盛り上げました。



(1) 日替わり活動紹介ブース（西区役所正面玄関前）

出展団体数：25団体 来場者数：約1,400人



一般社団法人自立支援推進センター



西区食生活等改善推進委員会



第五地区ジュニアボランティア

(2) 地域団体によるパフォーマンス動画

出演団体数：13団体 再生回数：6,301回



音楽ボランティア座にし



コーラス「アンダンテ」



ママ音楽ユニット♪シヨコラッティ♪

(3) WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER スペシャルムービー

コロナ禍の中でもきれいな街づくりのための活動を行っている「WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER」の様子を、横浜駅周辺の川から見た街並と併せてご紹介するスペシャルムービーを作成しました。



(4) 西区元気プロジェクト 連携イベント

商店街スタンプラリーやSDGs パネル展、為末大氏による読書講演会等、6種類のイベントと連携し実施しました。「ハマのウォーキングフェスティバル」では、参加費の支払いにキャッシュレスを導入する等、新型コロナ対策を取り入れ実施し、多くの方にご参加いただきました。

(5) 連携施設での活動紹介

地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザで実施するイベントと連携し、地域の方々の活動を動画配信する等により紹介を行いました。

2 西区商店街スタンプラリー及び食べ歩き～名店・老舗めぐり～

新型コロナウイルス感染症による外出自粛及び休業要請等の影響から、自粛解除となった今でも客足が戻らず、厳しい状況が続く商店を支援するため、商店街へ向かうきっかけづくりとして「西区商店街スタンプラリー」を開催しました。

(1) 商店街スタンプラリー実績

開催時期：令和2年11月1日～11月30日

参加店舗数：118店舗（8商店街）

参加人数：882人（882人×4店舗＝3,528回遊店舗数）

(2) 西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～実施概要

開催時期：令和2年12月14日～令和3年1月11日

対象店舗：スタンプラリーに参加した店舗のうち飲食店店舗（21店舗）

実施内容：①参加店舗から、割引や1品提供等の特典を御提供いただく

②スタンプラリー参加者のうち、希望者へ「①」の情報を記載した冊子と食べ歩き専用の缶バッジを郵送する

③缶バッジを提示して店舗の特典を利用して食べ歩きを行う

応募人数：455人（スタンプラリー参加者のうち希望者先着500人が対象）



商店街スタンプラリー



商店街食べ歩き

3 新型コロナウイルス感染症に係る広報の強化（タウンニュースの活用）

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、区民の関心が非常に高いことから、広報よこはま、本市Webサイト等の本市が発行等を行う広報媒体に加え、紙媒体での即時的な広報ツールとしてタウンニュースを活用しました。

また、中区と連携して取り組めるものについては協働記事とし、経費の圧縮を図りました。

掲載回数 7回予定

主な内容 4/30：緊急事態宣言 5/14：土曜開庁休止
5/21：特別定額給付金郵送申請 7/25：マイナンバー業務の休止
10/25：コロナにまけるな！ 1/28：感染防止対策の徹底
2/中：各種手続きの郵送申請案内（予定）



20/4/30 緊急事態宣言



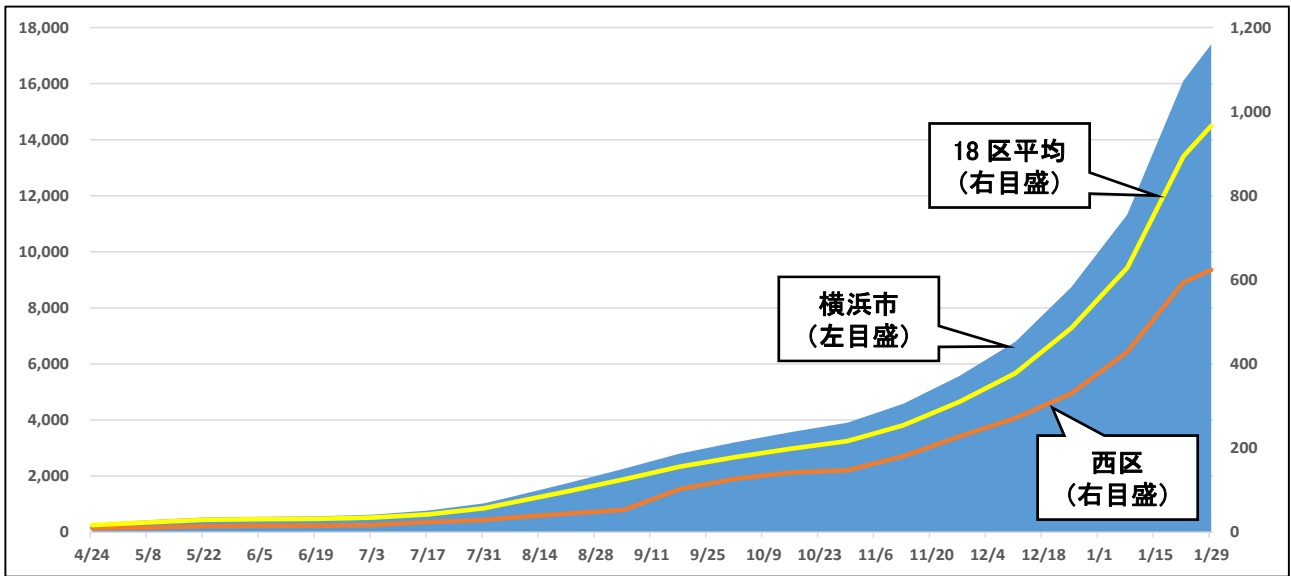
20/10/25 コロナにまけるな！西区元気プロジェクト2020



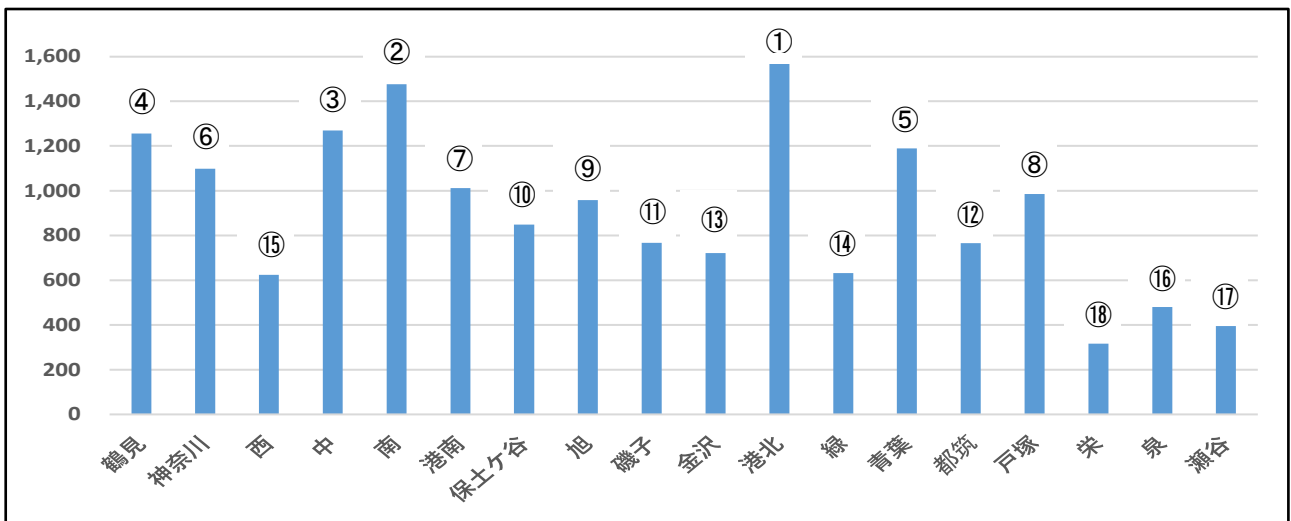
21/1/28 感染防止対策徹底

3-(5) 西区における新型コロナウイルス感染症の状況

1 新型コロナウイルス感染者発生状況（横浜市・西区・18区平均：累計）



2 区別感染者数（令和3年1月29日現在）



3 人口10万人あたり区別感染者数（令和3年1月29日現在）

